

ごもくお手玉

ビニールシートに碁盤を描き、紅白のお手玉を使って五目並べを行うスポーツです。シートには縦横5×5マス(25マス)が描かれ、タテ、ヨコ、ナナメをそろえるビンゴゲームです。カも入らず、ルールも簡単で、子どもから高齢者まですぐに楽しめます。

コート

◎ビニールシート 2.7m×2.7m
(縁幅5cm)

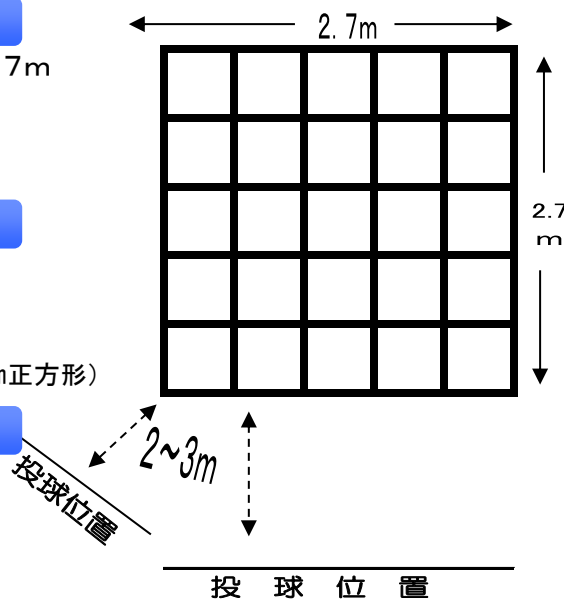
の平たんな場所

用具

◎5×5マス シート
◎お手玉(紅・白各10個)
(大豆50gが入る出来上がり10cm正方形)

人数

◎1チーム3~5名



投球場所は、2通りあり、ゲーム前に決めておく。
(斜めからの投球のほうが難しい。)

競技方法 (主なルール)

1. 紅白を決め、ジャンケンで勝ったチームから投球し、交互に投げる。
お手玉は、投げても転がしても(すべらせても)よい。
2. すでに入っているマスに入ったお手玉はアウトとなり、没収。
すでにマスの中に入っているお手玉を枠外にはじき飛ばすことができる。
ラインにかかったお手玉は投げ直しとなる。
3. 縦・横・斜めのマスのどれか1列揃ったらチームが勝ち。
4. 10個のお手玉を投げて、1列揃わない場合は、3個と4個並んだ玉数の多いチームが勝ちとなる。